

平成20年度 社会福祉審議会児童福祉専門分科会
「(仮称) うつのみや子どもプラン策定会議」 議事録

1. 日 時 平成20年12月25日(木) 午後1時30分～3時10分
2. 場 所 宇都宮市役所 本庁 14D会議室
3. 議 事 (1) 平成19年度次世代育成支援行動計画の進捗状況と今後の取組について
(2) (仮称) うつのみや子どもプランの策定について
(3) ニーズ調査の実施について
4. 出席者
- 【分科会長】伊達悦子委員
- 【職務代理】直井克仁委員
- 【委 員】江連晴夫委員, 牧 恒男委員, 石嶋 勇委員, 今井恭男委員, 大谷 仁委員,
絹谷よし子委員, 田沼芳博委員, 藤田宣昭委員, 床井信一委員, 渡部修三委員,
菊嶋貴之委員, 横松陽子委員, 宇山房子委員, 青木孝之委員, 清水映夫委員,
川上一郎委員, 菅原良之委員, 倉益 章委員, 保坂庄作委員
- 【事 務 局】〔子ども部〕鈴木 厚部長, 阿久津嗣郎次長
〔子ども未来課〕増渕尚江課長, 埴 雅彦主幹, 角海正育課長補佐,
角田 浩主任
〔子ども家庭課〕三好俊也課長, 高田洋子総括主査, 遠藤敦子主任
〔保育課〕青柳雅夫課長, 岡田比佐子係長, 小林正典総括主査
〔子ども発達センター〕広野典男所長, 市瀬俊子係長
〔生涯学習課〕高橋雪子課長, 鷺谷文子係長
5. 公開・非公開の別 公開
6. 傍聴者数 なし

| 発言者 | 内 容 |
|------|--|
| 角海補佐 | 1 開会 |
| 鈴木部長 | 2 子ども部長挨拶 |
| 角海補佐 | 3 委員紹介 |
| 伊達会長 | 4 分科会長挨拶 |
| | 5 議事 (1) 平成 19 年度次世代育成支援行動計画の進捗状況と今後の取組について |
| 伊達会長 | 事務局から説明を。 |
| 事務局 | (事務局説明) |
| 伊達会長 | 質問・意見はあるか。 |
| 大谷委員 | 学校では、育児放棄とまではいかななくても、親が子どもの面倒をみられないという実態がある。民生委員や児童相談所と連携してそうした家庭のケアに努めている。親の意識を変える取り組みが必要である。 |
| 伊達会長 | 虐待の件数はどのような状況か。 |
| 事務局 | 平成 19 年度は 68 件、今年度は 9 月現在で 66 件と増えている。 |
| 伊達会長 | ネグレクトの件数が多い。虐待防止の地域活動を進めていく必要がある。 |
| 牧委員 | 虐待はネグレクトが増えている。子どもの権利擁護について取り組みが遅れているが、その評価をする必要がある。 |
| 事務局 | 虐待防止の地域活動については、地区の民児協等を対象に説明会を開催しており、取り組みの促進に努めている。 |
| 倉益委員 | 中高生と乳幼児とのふれあい交流事業はどのようなものか。 |

| | |
|------|---|
| 事務局 | 夏休みなどの長期の休み期間中に保育園で行っているもの。 |
| 伊達会長 | 参加人数 501 人はどのようにとらえているのか。 |
| 事務局 | 保育園から報告があった数字。高校生の参加が多い。 |
| 伊達会長 | とっても大事な事業だと思う。拡充して欲しい。 |
| 絹谷委員 | 学童保育は 6 時までだと思うが、どのような状況か。 |
| 事務局 | 6 時までが基本だが、状況に応じて 7 時まで延長しているところもある。 |
| 今井委員 | 単純に延長できるわけではない。延長分は保護者の負担になる。開所時間は、統一すべきか個別対応でよいのか、運営委員会で議論している。公費負担のあり方など、全体をみて考えて欲しい。 |
| 横松委員 | 学童保育は 6 時に迎えに行かなければならないが、それが出来ない家庭もある。数は少なくとも、様々なケースへの支援を考えていく必要がある。働く女性への支援が必要である。 |
| 伊達会長 | 働き方に応じた子育て支援策の推進が必要。長時間延長保育は増えるのが良いのか、増えないのが良いのか難しい。制度が整いすぎても人間関係が悪くなることもある。 |
| 今井委員 | 企業への働きかけが重要である。企業の協力がなければ、子育ては難しい。子育ては社会全体で推進していかなければならないこと。企業への働きかけをより強力に推進する必要がある。 |
| 石嶋委員 | 子どもの幸せや権利を考えた時、子育てに直接かかわる保護者の意識を高める必要がある。 |
| 清水委員 | 児童を対象とした防犯講習会の開催を増やしていく必要がある。 |
| 事務局 | 子どもプランのなかでも、効果的な実施方法などを検討していきたい。 |
| 大谷委員 | 市主催の講習会は少ないが、各学校では独自に取り組んでいる。 |

| | |
|------|--|
| | (2) (仮称) うつのみや子どもプランの策定について |
| 伊達会長 | 事務局から説明を。 |
| 事務局 | (事務局説明) |
| 伊達会長 | 質問・意見はあるか。 |
| | (質問・意見なし) |
| | (3) ニーズ調査の実施について |
| 伊達会長 | 事務局から説明を。 |
| 事務局 | (事務局説明) |
| 伊達会長 | 質問・意見はあるか。 |
| 横松委員 | 就学前児童調査で、基本属性とはどのような内容か。 |
| 事務局 | 子どもの年齢、子どもの数、同居、近居の状況等である。 |
| 横松委員 | 県外出身だと近くに親族がいないので、支援の仕方が変わる。そういったことも把握して欲しい。企業調査で女性従業員の復職支援を入れて欲しい。 |
| 伊達会長 | 基本属性は大切な項目なので、十分検討して欲しい。 |
| 事務局 | 出来るだけ皆さんの意見を反映させるよう検討したい。 |
| 今井委員 | 地域との係わりの希薄さという課題がある。どのように子育て家庭と地域が係わっていくかということ把握して欲しい。点的に把握する項目ではなく、面的に把握する項目を入れて欲しい。 |
| 伊達委員 | ニーズ調査は、個別のニーズを把握するために行うもの。地域というものをどのように捉えるかを調査票に入れるのは難しい。地域にある社会資源を知っていますかというような質問になるのか。 |

| | |
|------|--|
| 事務局 | 今井委員の意見を十分反映できるかは分からないが、検討する。 |
| 牧委員 | 虐待は、自分から様々な社会資源を求められる人には無縁で、求めようとしなくて人が虐待につながっていく。能動的に地域と関わっていかうとしているかどうかを把握することが必要。 |
| 倉益委員 | 青少年調査で、どのような居場所が良いかといった項目を入れて欲しい。 |
| 事務局 | 入れる予定である。 |
| 宇山委員 | 子育てを楽しんでいるかなど、母親の気持ちの問題にふれる項目を入れて欲しい。 |
| 事務局 | <p>子育ての楽しさやつらさなどを聞く項目を考えている。</p> <p>(閉会)</p> |